

シラバス	国際自動車整備科 1 年		
	2026年度	導入	エンジン基礎

教員（実務経験）	市位 至（メ-カ-）	丹羽 暁彦（販売会社）
----------	------------	-------------

1.授業概要と履修前提	車両の基本的な取り扱いを勉強する。				
	車両の手入れを勉強する。				
2.教科の到達目標	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ				
	車両を丁寧に取り扱い、手入れをすることができる。 エンジンルームの内部が日本語で名前、役割が理解できる				
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト：工具・計測機器・整備機器編				
	トヨタサービス技術テキスト：導入編 7か国語で分かる整備用語（公論出版）				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 日本語による専門教育に対応できる能力と基礎的な自動車技術の学習				
	△ 日本語能力試験N2取得のための日本語の学習 国家二級自動車整備士資格取得に必要な基礎数学の学習				
5.評価方法	平常試験：20点	授業時間	学科	実習	試験
	定期試験：80点	10	8	0	2

[illegible]

シラバス	国際自動車整備科 1年		
	2026年度	前期 後節	エンジン基礎

教員（実務経験）	市位 至（メ-カ-）	丹羽 暁彦（販売会社）
----------	------------	-------------

1.授業概要と履修前提	エンジンの基本的を勉強する。				
	日本語での部品名や役割を説明できるようになる				
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ				
2.教科の到達目標	車両を丁寧に取り扱い、手入れをすることができる。				
	エンジン内部（シリンダヘッドまで）が日本語で名前、役割が理解できる				
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト：工具・計測機器・整備機器編				
	トヨタサービス技術テキスト：導入編				
	7か国語で分かる整備用語（公論出版）				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 日本語による専門教育に対応できる能力と基礎的な自動車技術の学習				
	△ 日本語能力試験N 2 取得のための日本語の学習				
	国家二級自動車整備士資格取得に必要な基礎数学の学習				
5.評価方法	平常試験：20点	授業時間	学科	実習	試験
	定期試験：80点	15	13	0	2

[illegible]

シラバス	国際自動車整備科 1年		
	2026年度	前期 後節	エンジン実習基礎

教員（実務経験）	市位 至（メーカ－）	丹羽 暁彦（販売会社）
----------	------------	-------------

1.授業概要と履修前提	エンジンの基本的を勉強する。 日本語での部品名や役割を説明できるようになる ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ				
2.教科の到達目標	車両を丁寧に取り扱い、手入れをすることができる。 エンジン内部（シリンダブロックまで）が日本語で名前、役割が理解できる				
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト：工具・計測機器・整備機器編 トヨタサービス技術テキスト：導入編 7か国語で分かる整備用語（公論出版）				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 日本語による専門教育に対応できる能力と基礎的な自動車技術の学習 △ 日本語能力試験N 2 取得のための日本語の学習 国家二級自動車整備士資格取得に必要な基礎数学の学習				
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点	授業時間	学科	実習	試験
		15	0	14	1

[illegible]

教員（実務経験）	市位 至（X-カ-）	丹羽 暁彦（販売会社）
----------	------------	-------------

[illegible]

シラバス	国際自動車整備科 1 年		
	2026年度	前期 後節	シャシ基礎

教員（実務経験）	安田 和広（ ）	増田 靖陸（ ）
----------	----------	----------

1.授業概要と履修前提	クラッチについて学ぶ 動力伝達装置について学ぶ				
2.教科の到達目標	クラッチの役目を理解する クラッチの作動、トラブルについて理解する				
3.使用教科書、準備品	トヨタサーブিস技術テキスト：第 1 ステップ チャレンジノート：1ステップ				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 日本語による専門教育に対応できる能力と基礎的な自動車技術の学習 △ 日本語能力試験 N 2 取得のための日本語の学習 国家二級自動車整備士資格取得に必要な基礎数学の学習				
5.評価方法	平常試験 20点 確認試験 80点	授業時間	学科	実習	試験
		11	9	0	2

[illegible]

シラバス	国際自動車整備科 1年		
	2026年度	後期 前節	シャシ実習基礎

教員（実務経験）	安田 和広（ ）	増田 靖陸（ ）
----------	----------	----------

1.授業概要と履修前提	ブレーキの作動について学ぶ				
2.教科の到達目標	ディスクブレーキの作動を理解する ドラムブレーキ作動を理解する マスターシリンダの作動を理解する				
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト：第 1 ステップ チャレンジノート：1ステップ				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 日本語による専門教育に対応できる能力と基礎的な自動車技術の学習 △ 日本語能力試験 N 2 取得のための日本語の学習 国家二級自動車整備士資格取得に必要な基礎数学の学習				
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点	授業時間 17	学科 0	実習 16	試験 1

[illegible]

教員（実務経験）	安田 和広（ ）	増田 靖陸（ ）
----------	----------	----------

[illegible]

教員（実務経験）	増田 靖陸（ ）	丹羽 暁彦（販売会社）
----------	----------	-------------

[illegible]

シラバス	国際自動車整備科 1年		
	2026年度	学年末	電気装置実習基礎

教員（実務経験）	増田 靖陸（ ）	丹羽 暁彦（販売会社）
----------	----------	-------------

1.授業概要と履修前提	車両の基本的な取り扱いを勉強する。 車両の手入れを勉強する。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ				
2.教科の到達目標	車両を丁寧に取り扱い、手入れをすることができる。 車両の電装品が日本語で名前、役割が理解できる				
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト：工具・計測機器・整備機器編 トヨタサービス技術テキスト：導入編 7か国語で分かる整備用語（公論出版）				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 日本語による専門教育に対応できる能力と基礎的な自動車技術の学習 △ 日本語能力試験N 2 取得のための日本語の学習 国家二級自動車整備士資格取得に必要な基礎数学の学習				
5.評価方法	平常試験：100点	授業時間	学科	実習	試験
		17	0	17	

[illegible]

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	導入	エンジン I - A

教員（実務経験）	菊田 直樹（メーカー）	中林 聖弥（販売会社）
----------	-------------	-------------

1.授業概要と履修前提	工具の名称・用途について学ぶ				
	工具を使った基本的な作業方法を身に付ける				
	全ての作業に通じる作業姿勢など、基本動作を身に付ける				
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ				
2.教科の到達目標	工具の名称・用途等を、身に付けることができる				
	自動車部品の分解・組み付けにおいて、安全で正確な作業ができるようになる				
3.使用教科書、準備品	・タブレット				
	・工具一式				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	○ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている				
	○ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている				
	サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている				
5.評価方法	無し	授業時間	学科	実習	試験
		6	1	5	0

[illegible]

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	前期	エンジン I - A

教員（実務経験）	菊田 直樹（メーカー）	中林 聖弥（販売会社）
----------	-------------	-------------

1.授業概要と履修前提	ガソリンエンジン概要 仕組み 3要素 動弁機構 冷却装置 吸気排気装置 構造と交換作業 修理書の見方 、 工具取り扱いの習熟 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ				
2.教科の到達目標	動弁機構について理解し説明でき、国家試験が解ける 吸排気装置・冷却装置を理解し説明できる 冷却・動弁装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる 工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる				
3.使用教科書、準備品	・タブレット ・工具 ・保護具 ・ウエス 二級自動車整備士（総合）・三級自動車整備士（総合） 自動車整備技術 エンジン編				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている				
5.評価方法	実技チェック：10点 、レポート：5点 学科試験：45点 、実技試験：40点	授業時間	学科	実習	試験
		45	15	28	2

授業計画					
学実	テーマ	到達目標	教場	時間	
学科	動弁装置	基本的なエンジンの構造・動弁機構種類が理解できる		4	
学科	動弁装置	(エンジンメカニカル 2 動弁機構の種類)			
学科	動弁装置	(エンジンメカニカル 2 動弁機構の構成)			
学科	動弁装置	(エンジンメカニカル 2 バルブタイミング)			
学科	動弁装置	バルブタイミング 国家試験問題が解ける		2	
学科	吸排気装置	基本的なエンジンの構造 吸気装置の仕組みが理解できる		2	
学科	吸排気装置	(エンジンメカニカル 3 吸気装置)			
学科	吸排気装置	基本的なエンジンの構造 排気装置の仕組みが理解できる		1	
学科	吸排気装置	(エンジンメカニカル 4 排気)			
学科	冷却装置	基本的なエンジンの構造 冷却装置の仕組みが理解できる		5	
学科	冷却装置	(エンジンメカニカル 5 冷却装置)			
学科	学科まとめ	確認試験、Forms問題		1	
実習	修理書の見方	一般作業の説明範囲 準備品 作業手順について理解を深める		1	
実習	修理書の見方	用語の定義 略語 SI単位について理解を深める			
実習	修理書の見方	標準ボルトナットについての理解を深める			
実習	冷却装置	冷却装置の主要部品の名称・役目・実物が一致する	32実	2	
実習	分解作業	修理書を使用し組み付け行程の事も考えた分解作業ができる	32実	3	
実習	分解作業	冷却水抜き取り	32実		
実習	分解作業	ラジエタ取り外し、ベルト・ファンブリー取り外し	32実		
実習	分解作業	テンショナー、ウォーターポンプ、サーモスタット取り外し	32実		
実習	構造研究	各部品の構造を理解する	32実	2	
実習	点検、作動確認	サーモスタット、ファンクラッチ	32実	1	
実習	組付作業	修理書を使用し正確な組み付け作業ができる	32実	4	
実習	組付作業	サーモスタット、ウォーターポンプ、テンショナー取り付け	32実		
実習	組付作業	ベルト・ファンブリー取り付け、ラジエタ取り付け	32実		
実習	組付作業	冷却水注水	32実		
実習	各種点検	漏れ点検、キャップ点検、L L C 濃度点検	32実	3	
実習	動弁機構	動弁機構（ラッシュアジャスター含む）について理解を深める	32実	3	
実習	動弁装置	バルブ交換作業ができる	32実	3	
実習	吸排気装置	吸気・排気装置の概要について理解を深める	32実	2	
実習	チェックシート	冷却水交換・漏れ点検【TEAM-GP チェックシート】	32実	2	
実習	チェックシート	冷却水交換・漏れ点検【TEAM-GP チェックシート】	32実	1	
実習	実技まとめ	確認試験、Forms問題		1	

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	後期	エンジン I - A

教員（実務経験）	菊田 直樹（メーカー）	中林 聖弥（販売会社）
----------	-------------	-------------

1.授業概要と履修前提	ガソリンエンジン概要 仕組み			
	エンジン本体 分解作業・構造確認			
	修理書の見方 、 工具取り扱いの習熟			
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ			
2.教科の到達目標	ガソリンエンジン概要を理解し説明できる			
	エンジン本体について理解し説明でき、国家試験が解ける			
	各装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる			
	工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる			
3.使用教科書、準備品	・タブレット ・工具 ・保護具 ・ウエス			
	二級自動車整備士（総合）			
	三級自動車整備士（総合）			
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている			
	◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている			
	サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を			
	身につけている			
5.評価方法	実技チェック：10点 、レポート：5点			授業時間
	学科試験：45点 、実技試験：40点			試験
			45	2

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	エンジン構造	シリンダブロックの構造や種類を理解する		2
学科	エンジン構造	ピストンの構造や種類を理解する		2
学科	エンジン構造	ピストンリングの構造や種類を理解する		2
学科	エンジン構造	コンロッドの構造を理解する		1
学科	エンジン構造	ベアリングメタルの種類・性質や特性を理解する		2
学科	エンジン構造	クランクシャフトの構造を理解する		1
学科	エンジン構造	フライホイール・クランクプーリーの構造を理解する		1
学科	学科まとめ	確認試験、Forms問題		1
実習	オーバーホールについて	「オーバーホール」について STEP 2 p50～55	32実	1
実習	オーバーホール	オーバーホールを通してエンジン構造や工具の使い方を習熟する	32実	2
実習	オーバーホール	燃料流出防止作業 Fクイックコネクター 冷却水抜き	32実	1
実習	オーバーホール	吸気系統、ハーネス 冷却水系統 電装系統取り外し	32実	1
実習	オーバーホール	吸気系統 排気系統 センサー系統 ファンベルト関係取り外し	32実	1
実習	オーバーホール	シリンダヘッドカバーassy クラッチハウジング フライホイール取り外し	32実	1
実習	オーバーホール	圧縮上死点セット、クランクプーリ取り外し	32実	1
実習	オーバーホール	オイルパン タイミングチェーンカバー取り外し	32実	1
実習	オーバーホール	タイミングチェーン機構	32実	1
実習	オーバーホール	カムシャフト取り外し 動弁機構	32実	1
実習	オーバーホール	シリンダヘッド、ヘッドガスケット	32実	1
実習	オーバーホール	ピストン クランクシャフト取り外し	32実	2
実習	エンジン本体	構造研究をとおして構造を理解する	32実	5
実習	点検	構造研究 オイルポンプ点検	32実	2
実習	点検	構造研究 ラッシュアジャスタ点検	32実	1
実習	チェックシート	ピストンリング脱着 練習	32実	2
実習	チェックシート	ピストンリング脱着【G38002】70点以上	32実	2
実習	チェックシート	ピストン脱着 練習	32実	2
実習	チェックシート	ピストン脱着【G38002】70点以上	32実	2
実習	実技まとめ	確認試験、Forms問題		1

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	前期	エンジン I - B

教員（実務経験）	定行 智（ ）	田本 伸明（販売会社）
----------	-------------	-------------

1.授業概要と履修前提	内燃機関、ガソリンエンジン概要　仕組み					
	燃料装置の構造と交換作業・EFI概要・始動装置概要					
	修理書の見方、工具取り扱い　習熟					
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ					
2.教科の到達目標	エンジンの性能について理解し説明でき、国家試験が解ける					
	ガソリンエンジン概要、燃料装置・始動装置を理解し説明できる					
	燃料装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる					
	工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる					
3.使用教科書、準備品	・タブレット　・工具　・保護具　・ウエス					
	二級自動車整備士（総合）					
	三級自動車整備士（総合）					
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている					
	◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている					
	サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている					
5.評価方法	実技チェック：10点　・レポート：5点		授業時間	学科	実習	試験
	学科試験：45点　・実技試験：40点		45	18	25	2

授業計画					
学実	テーマ	到達目標	教場	時間	
学科	エンジンが力を出す仕組み	ガソリンエンジン概要・仕組み・各行程の作動が理解できる 2STEP		3	
学科	ガソリン 3 要素	エンジンの力をコントロールする要素を理解する		1	
学科	【eテスト】	ガソリンが力を出す仕組み 7 0 点以上合格		1	
学科	燃料装置	基本的なエンジンの構造 燃料装置の仕組みが理解できる		3	
学科	始動装置	基本的なエンジンの構造 始動装置の仕組みが理解できる		1	
学科	EFI	概要・主要な構成部品と基本制御が理解できる		2	
学科	EFI	各種センサー・アクチュエータが理解できる		1	
学科	エンジンの性能	基本的なスペックの知識が理解できる		1	
学科	（内燃機関）	（排気量 ボアストローク 出力 トルク 性能曲線 理論サイクル）		1	
学科	（内燃機関）	（燃料消費率 燃費モード 熱効率 仕事、仕事率）		1	
学科		エンジン性能 国家試験問題が解ける		1	
学科	【eテスト】	安全 7 0 点以上合格		1	
学科	学科まとめ	学科復習		1	
実習	エンジン始動	作業安全＋ガソリンの性質と取り扱いを理解する	32実	1	
実習	エンジン始動	点検・判定が正確にできる(エンジンオイルの量 冷却水の量 バッテリー・ミルの緩み)	32実	1	
実習	修理書の見方	一般作業の説明範囲 準備品 作業手順について理解を深める	32実	1	
実習		（用語の定義、略語、SI単位、標準ボルトナット、燃料系統を通して配線図集の見方）			
実習	燃料装置	燃料装置の主要部品の名称・役目・実物が一致する	32実	2	
実習	安全作業	火気に関わる作業・燃料流出防止作業を理解し実践できる	32実	2	
実習	分解作業	修理書を使用し組み付け行程の事も考えた分解作業ができる	32実	3	
実習	構造研究	ポンプ フィルター パイプ ホース クイックカプラ各部品の構造を理解する	32実	1	
実習	構造研究	パルセーションダンパ プレッシュアレギュレータ各部品の構造を理解する	32実	1	
実習	構造研究	デリバリーパイプ インジェクター ガスケット各部品の構造を理解する	32実	1	
実習	組み付け作業	修理書を使用し正確な組み付け作業ができる	32実	3	
実習	締め付けトルク	適正な締め付けトルクで組み付けができる	32実	1	
実習	延長工具	延長工具を取り付けたトルク管理ができる	32実	1	
実習	始動装置	始動装置の概要について理解を深める	32実	1	
実習	圧力・負圧	インテークマニホールドに発生する圧力について理解を深める	32実	1	
実習	燃圧測定	負荷と回転数と燃料消費について理解を深める	32実	1	
実習	EFI構成	2 級国家試験レベル(E F I)の構成部品について理解を深める	32実	1	
実習	確認試験	ペーパー問題		1	
実習	実技チェック	燃料流出防止作業【TEAM-GP チェックシート】	32実	1	
実習	実技まとめ	実習内容復習	32実	1	

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	後期	エンジン I - B

教員（実務経験）	定行 智（ ）	田本 伸明（販売会社）
----------	-------------	-------------

1.授業概要と履修前提	内燃機関、ガソリンエンジン概要と仕組み、潤滑装置					
	エンジン本体　組付け作業・点検					
	修理書の見方、工具取り扱い　習熟					
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ					
2.教科の到達目標	ガソリンエンジン概要を理解し説明できる					
	内燃機関、潤滑装置について理解し説明でき、国家試験が解ける					
	各装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる					
	工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる					
3.使用教科書、準備品	・タブレット　・工具　・保護具　・ウエス					
	二級自動車整備士（総合）					
	三級自動車整備士（総合）					
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている					
	◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている					
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点		授業時間	学科	実習	試験
	学科試験：45点　、実技試験：40点		45	15	28	2

授業計画					
学実	テーマ	到達目標	教場	時間	
学科	潤滑装置	ろ過方式、フィルターの構造を理解する		1	
学科	潤滑装置	ポンプ各種の構造を理解する		1	
学科	潤滑装置	各種バルブの構造を理解する		1	
学科	潤滑装置	油路等の構造を理解する		1	
学科	潤滑装置	油脂の知識を身につける		1	
学科	内燃	「熱・温度・仕事・エネルギー」について理解する		1	
学科	内燃	「排気量・圧縮比・平均ピストンスピード」を求めることができる		2	
学科	内燃	「平均有効圧力・諸損失」について理解する		1	
学科	内燃	「バルブタイミング」について理解する		2	
学科	学科まとめ	学科復習		1	
学科	eテスト	エンジンメカニカル 1【G30008-T03】 70点以上合格		1	
学科	eテスト	エンジンメカニカル 5【G30008-T07】 70点以上合格			
学科	eテスト	ガソリンエンジン 1【G41004-T01】 70点以上合格			
学科	確認試験	試験 1 (エンジン本体・潤滑装置)		1	
学科	確認試験	試験2 (内燃機関)		1	
実習	オーバーホール	オーバーホールを通してエンジン構造や工具の使い方を習熟する	32実	1	
実習	オーバーホール	塑性域締め付け法 ボルト点検 ノギスの使い方	32実	2	
実習	オーバーホール	ピストンリング ベアリングメタル取り付け	32実	2	
実習	オーバーホール	クランクシャフト ベアリングメタル取り付け	32実	2	
実習	オーバーホール	シリンダヘッドガスケット シリンダヘッド取り付け	32実	2	
実習	オーバーホール	動弁機構＊3	32実	2	
実習	オーバーホール	カムシャフト取り付け バルブタイミング タイミングチェーン	32実	2	
実習	オーバーホール	タイミングチェーンケースカバー取り付け＊2	32実	2	
実習	オーバーホール	オイルパン取り付け ＊4	32実	2	
実習	オーバーホール	クランクプーリ取り付けフライホイール取り付け ＊5	32実	2	
実習	オーバーホール	吸気 排気 冷却 補記類取り付け	32実	2	
実習	エンジン始動	安全作業の習熟 完成点検含む（各種漏れ点検）	32実	2	
実習	点検	圧縮圧力点検	32実	3	
実習	実技まとめ	実習内容復習	32実	1	
実習	確認試験	実習全般		1	

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	前期	シャシ I - A

教員（実務経験）	矢下 椋大（販売会社）	竹谷 康佑（販売会社）
----------	--------------	--------------

1.授業概要と履修前提	・ブレーキの基本性能、ディスクブレーキについて学ぶ ・エア抜き作業,タイヤローテーションについて学ぶ ・整備士に必要なシヤンの構造・作動・整備の知識を身につける ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ				
2.教科の到達目標	・ブレーキ基本性能、ディスクブレーキの構造・作動、ブレーキフルードの性質と取扱いについて答えることができる ・パスカルの原理（油圧計算）ができる ・ディスクブレーキの実物を確認し、名称や役目を答えることができる。また各種点検の実施、良否判定ができるようになる。 ・エア抜き作業について学ぶ				
3.使用教科書、準備品	・日整連 三級総合 ・トヨタサービス TEAM GP G4（導入・1STEP）、G3(2STEP) ・トヨタサービス技術テキスト 工具計測器整備機器編				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ◎ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている				
5.評価方法	実技チェック：17点、レポート：3点 学科試験：40点、実技試験：40点	授業時間	学科	実習	試験
		43	12	31	

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ブレーキの原理	ブレーキの概要、原理を説明できる	235	1
学科	ブレーキ基本性能	停止、空走、制動を説明できる	235	1
学科	ディスクブレーキ	特徴、キャリバとディスクロータの種類を答えられる	235	1
学科	ディスクブレーキ	作動、構造を答えることができる	235	1
学科	ブレーキフルード	性質、取扱い方法、保管方法や注意点を答えることができる	235	1
学科	まとめ	まとめ	235	3
学科	ブレーキ	確認プリント実施	235	1
学科	復習（確認試験）	後で調整	235	3
実習	ディスクブレーキ	自動調整機構の必要性、構造、作動について説明できる	35A	1
実習	ブレーキトラブル	フェード現象、ベーパーロック現象、ブレーキノイズを説明できる	35A	1
実習	ブレーキ概要	実物のブレーキ関連部品が理解でき、答えられる。	35A	2
実習	ディスクブレーキ	キャリバの構造を理解し、取り外しができる	35A	2
実習	ディスクブレーキ	フレキシブルホースの点検、良否判定ができる	35A	1
実習	ディスクブレーキ	安全にパッドの脱着ができ、構造の理解、測定・良否判定ができる	35A	7
実習	ディスクブレーキ	ディスクロータの振れ点検、良否判定ができる	35A	1
実習	キャリバ	正しい分解組付けができる	35A	2
実習	エア抜き作業	フルードの性質を知り、正しい作業方法を理解し、実施できる	35A	2
実習	タイヤローテーション	FF、FRのローテーション方法や推奨距離の違いを理解し実施できる	35A	1
実習	パッド交換作業	パッドの測定、交換作業を時間内にできる	35A	3
実習	ブレーキトラブル	グループワークを通し、ブレーキの理解を深め、各項目を説明できる(含:確認試験)	35A	2
実習	ディスクブレーキ	試験(eチェック)に合格できる	35A	1
実習	ブレーホース	試験(eチェック)に合格できる	35A	1
実習	キャリバ	試験(eチェック)に合格できる	35A	1
実習	タイヤローテーション	試験(eチェック)に合格できる	35A	1
実習	定期点検	試験(eチェック)に合格できる	35A	1
実習	まとめ	まとめ	35A	1

教員（実務経験）	矢下 椋大（販売会社）	竹谷 康佑（販売会社）
----------	-------------	-------------

[illegible]

[illegible]

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	前期	シャシ I - B

教員（実務経験）	中田 善之（ ）	猪熊 快斗（ ）
----------	----------	----------

1.授業概要と履修前提	ブレーキブースタ及び、マスターシリンダの構造・作動 A B S の概要 シャシ整備を学ぶ			
2.教科の到達目標	ブレーキブースタの原理・名称および作動が説明できる。 ブレーキブースタ車上点検方法を理解する。 マスターシリンダの構成部品の名称および作動が説明できる。 A B S の概要的問題が解ける。			
3.使用教科書、準備品	二級、三級自動車整備士（総合）			
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ◎ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
5.評価方法	実技チェック：17点、レポート：3点 学科試験：40点、実技試験：40点	授業時間	学科	実習
		34	13	21
			試験	

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ブレーキブースター	ブレーキブースターの必要性、種類が答えられる。	236	1
学科		原理が説明できる。	236	1
学科		構造、作動が説明できる。	236	2
学科		保持作動（リアクション機構）が説明できる。	236	1
学科	マスターシリンダ	マスターシリンダの必要性、種類が答えられる。	236	1
学科		マスターシリンダの構造が説明できる。	236	1
学科		マスターシリンダの作動が説明できる。	236	1
学科	A B S	A B S の必要性、特徴が説明できる。	236	1
学科		EBD,ECBの概要が解る。	236	1
学科	まとめ	まとめ	236	2
学科	Eテスト	Eテスト得点率 7 0 % 以上 G30030-T01	236	1
実習	ブレーキブースター	ブレーキブースターの各部名称が全て答えられる。（外観）	223	1
実習		分解手順が理解でき、分解作業が出来る。	223	1
実習		内部の各部名称および役目が答えられる。	223	1
実習		コントロールバルブの動きが説明できる。	223	1
実習		チェックバルブの作動が説明できる。	223	1
実習		組み付け作業が理解でき、組み付け作業ができる。	223	1
実習		ブレーキブースタ簡易点検がひとりで出来る。	34B	3
実習		ブレーキブースター不具合の現象確認と現象説明が出来る。	テストコー	3
実習	マスターシリンダ	マスターシリンダの必要性、種類が説明できる。	223	1
実習		マスターシリンダが分解できる。	223	1
実習		マスターシリンダの作動が説明できる。（通常時、故障時）	223	2
実習		マスターシリンダの各部の名称が答えられる。（外観）	223	1
実習		内部の各部名称および役目が答えられる。	223	1
実習		組み付け作業が理解でき、組み付け作業ができる。	223	1
実習	まとめ	まとめ	244	2

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	後期	シャシ I - B

教員（実務経験）	中田 善之（ ）	猪熊 快斗（ ）
----------	----------	----------

1.授業概要と履修前提	サスペンションの構造について学ぶ。 車両からのサスペンション脱着 単体サスペンションを使用し、分組及び構造研究。			
2.教科の到達目標	サスペンション形式やスプリングの種類、特徴が説明できる。 ショックアブソーバの構造、作動が説明できる。 サスペンションの脱着ができる。（フロント） フロントアクスルの構成部品が説明できる。			
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP 技術テキスト 1STEP、2STEP 二級、三級自動車整備士（総合） 自動車整備技術 シャシ2			
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ◎ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
5.評価方法	実技チェック：17点、レポート：3点 学科試験：40点、実技試験：40点	授業時間	学科	実習
		43	20	23

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	サスペンション（概要）	サスペンションの役割が説明できる。	236	1
学科		サスペンションの構成が説明できる。	236	2
学科		車軸懸架式、独立懸架式の分類と違いが説明できる。	236	1
学科	スプリング	リーフスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	236	1
学科		コイルスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	236	1
学科		トーションバースプリング、エアスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	236	1
学科		金属バネとエアスプリングの特徴、違いが説明できる。	236	1
学科	ショックアブソーバ	モノチューブ、ツインチューブの役目、名称、特徴が説明できる。	236	1
学科		モノチューブの作動が説明できる。	236	1
学科		ツインチューブの作動が説明できる。	236	1
学科	スタビライザー	名称、役目、特徴が説明できる。	236	1
学科	サスペンション	車軸懸架式の構造が説明できる。（平行リーフ、コイル式）	236	1
学科	（フロントサスペンション）	独立懸架式の構造が説明できる。（ストラット式、ウィッシュボーン式）	236	1
学科	サスペンション	車軸、独立懸架式の構造の説明が出来る。（トーションビーム、マルチリンク）	236	1
学科	電子制御サスペンション	概要、特徴が説明できる。	236	1
学科		AVSのシステムが説明できる。	236	1
学科	まとめ	まとめ	236	2
学科	E テスト	Eテスト得点率 70 % 以上 G41017-T02（後半T01も行う）、G30025-T01	236	1
実習		KYT	34B	1
実習	取り外し作業	ブレーキ、アクスルハブを含むショックアブソーバ脱着ができる。	34B	8
実習	構造研究	ショックアブソーバ、スプリング、ロアアーム、アクスルハブ、	34B	2
実習		ボールジョイント、スプリングの構成部品名称及び作動が答えられる。	34B	
実習	コイルスプリング脱着	コイルスプリングの脱着作業ができる。（習熟練習）	34B	4
実習	体感走行	アブソーバ不具合現象が走りで分かる。	34B	3
実習	平常チェック	コイルスプリングの脱着作業が時間内に一人でできる。得点率60%以上	34B	3
実習	まとめ	まとめ	244	2

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	導入	シャシー - C

教員（実務経験）	大橋 信夫（ ）	濱田 康博（販売会社）
----------	----------	-------------

1.授業概要と履修前提	・ステアリング装置、ブレーキ装置についてその構造・作動を学ぶ ・駆動方式の種類、特徴について学ぶ ・正しい車両の取扱いを学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ				
2.教科の到達目標	・自動車の三大要素である「走る」「曲がる」「止まる」の主要部品を答えることができる ・イラストから駆動方式を判断することができる ・駆動方式の特徴を答えることができる ・正しい車両の取扱いを理解し、実践できる				
3.使用教科書、準備品	・日整連 2 級自動車整備士（総合） 3 級自動車整備士（総合） ・トヨタサービス TEAM GP G4（導入編）及び（1STEP） ・自動車整備技術 シュン 2				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築ことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている				
5.評価方法	評価無し	授業時間	学科	実習	試験
		6	4	2	0

[illegible]

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	前期	シャシ I - C

教員（実務経験）	大橋 信夫（ ）	濱田 康博（販売会社）
----------	--------------	-------------

1.授業概要と履修前提	・クラッチとトランスミッションについて学ぶ			
	・基礎的な工作作業について学ぶ			
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ			
2.教科の到達目標	・クラッチの部品名称、構造、作動、不具合について答えることができる			
	・クラッチ、トランスミッションの実物を確認し、名称や役目を答えることができる			
	・トランスミッションの部品名称、構造、作動、不具合について答えることができる			
	・各種点検の実施、良否判定ができるようになる			
3.使用教科書、準備品	・自動車整備技術 シャシ 1			
	・日整連 2 級自動車整備士（総合） 3 級自動車整備士（総合）			
	・トヨタ・ヒス技術テキスト TEAM GP G4(導入・1STEP),G3(2STEP),工具計測器整備機器編			
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	○ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている			
	◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている			
	△ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
5.評価方法	実技チェック：10点 、レポート：5点			
	学科試験：40点、実技試験：45点 ●TEAM-GPのeテスト：70%以上			
	授業時間	学科	実習	試験
	43	14	29	

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	クラッチ	目的、必要条件、種類が理解できる	246	1
学科	クラッチ	ダイヤフラム式の構造、作動が理解できる	246	1
学科	クラッチ	クラッチの構成部品が理解できる	246	1
学科	クラッチ	コイルスプリング式の構造・作動が理解できる	246	1
学科	トランスミッション	必要性が理解できる	246	1
学科	トランスミッション	ギヤ比(変速比)が理解でき、計算ができる	246	1
学科	トランスミッション	種類、基本構造、シンクロ作動が理解できる	246	2
学科	動力伝達装置	(eラーニング実施し テスト:ドライブ トレーン1)が合格できる	246	1
学科	クラッチ	試験(e テスト)が合格できる G41014-T01	246	1
学科	トランスミッション	試験(e テスト)が合格できる G30021-T01	246	1
学科	トランスミッション	試験(e テスト:ドライブ トレーン2)が合格できる G30021-T02	246	1
学科	まとめ	まとめ	246	1
学科	まとめ	まとめ	246	1
実習	基本作業	修理書の見方が理解できる	211	1
実習	クラッチ	構造(全体)が理解でき、分解作業の注意点が理解できる	211	1
実習	クラッチ	構造(単体)が理解でき、部品点検の注意点が理解でき、作業ができる	211	1
実習	クラッチ	組付作業の注意点が理解できる	211	3
実習	クラッチ	操作系統の構造(部品)、特徴が理解できる	211	2
実習	クラッチ	操作系統の点検の注意点が理解でき、作業ができる	211	2
実習	トランスミッション	ケース外側についている部品の特徴、点検作業が理解できる	211	1
実習	トランスミッション	ギヤ関連の構造(部品)が理解できる	211	2
実習	トランスミッション	点検(ブレーキ作用、スラストすき間)の注意点が理解でき、作業ができる	211	1
実習	トランスミッション	シンクロ機構の構造(部品)、作動が理解できる	211	2
実習	トランスミッション	操作機構の構造・作動が理解できる	211	2
実習	トランスミッション	誤作動防止装置の各種作動、特徴が理解できる	211	2
実習	トランスミッション		211	2
実習	トランスミッション	車両走行を通して、不具合現象を体感・発見できる	周回路	2
実習	クラッチ・トランスミッション	G W Tを通して、車両装置の不具合が理解できる	211	2
実習	まとめ	まとめ	211	2
実習	復習	復習	211	1

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	後期	シャシ I - C

教員（実務経験）	大橋 信夫（ ）	濱田 康博（販売会社）
----------	---------------------	-------------

1.授業概要と履修前提	・ディファレンシャルについて学ぶ			
	・タイヤ、ホイール、グリスについて学ぶ			
	2 輪駆動装置について学ぶ			
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ			
2.教科の到達目標	・ディファレンシャルの必要性、役目、歯車の種類について答えることができる			
	・ディファレンシャルの実物を確認し、名称や役目を答えることができる			
	・タイヤ、ホイールの構造、各部名称、トラブルについて答えることができる			
	・各種点検の実施、良否判定、調整作業ができる			
3.使用教科書、準備品	・自動車整備技術 シャシ 1			
	・トヨタサービス TEAM GP G4（導入編・1STEP）及びG3（2STEP）			
	・日整連 2 級自動車整備士（総合） 3 級自動車整備士（総合）			
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	○ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている			
	◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている			
	△ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
5.評価方法	実技チェック：10点 、レポート：5点			授業時間
	学科試験：40点、実技試験：45点 ●TEAM-GPのeテスト：70%以上			学科
				実習
				試験
			43	11
				32

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ディファレンシャル	概要、基本構造が理解できる	246	1
学科	ディファレンシャル	ギヤ比、動力伝達順序、作動の動きが理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	概要、各部名称、各サイズ(呼び)、品質保証が理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	各部名称、構造、サイズ(呼び)が理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	種類、トレッドパターン、各諸元が理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	種類(デンプタイヤ、冬タイヤ)が理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	不具合(振動、騒音、偏摩耗、発熱、各現象)が理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	現物を確認し、タイヤ・ホイールの理解度を深めることができる	246	1
学科	グリス	グリスの特徴が理解できる	246	1
学科	まとめ	まとめ	246	2
実習	ディファレンシャル	構造(全体)、歯当たり点検・良否判定が理解できる	211	2
実習	ディファレンシャル	分解手順、注意点、構造(部品)が理解できる	211	2
実習	ディファレンシャル	デフケースを分解、構造(部品)を理解できる	211	2
実習	ディファレンシャル	デフケースの組立手順、注意点を理解できる	211	2
実習	ディファレンシャル	ドライブシャフト組付	211	1
実習	ディファレンシャル	ブレード、及び、バックラッシュ点検・調整、発生不具合が理解できる	211	2
実習	ディファレンシャル	ブレード点検、調整作業を習得する	211	2
実習	ディファレンシャル	バックラッシュ点検、調整作業を習得する	211	2
実習	ディファレンシャル	組付作業の注意点が理解できる	211	1
実習	ホイール	概要、各部名称、各サイズ(呼び)、品質保証が理解できる	211	2
実習	タイヤ	各部名称、構造、サイズ(呼び)が理解できる	211	2
実習	タイヤ	種類、トレッドパターン、各諸元が理解できる	211	3
実習	2輪駆動装置	チェーン駆動 シャフト駆動 ベルト駆動が理解できる	246	2
実習	2輪駆動装置	無段変速機が理解できる	246	2
実習	タイヤ	現物を確認し、タイヤ・ホイールの理解度を深めることができる	211	1
実習	タイヤ・ホイール	試験(eテスト)が合格できる	211	1
実習	まとめ	まとめ	211	3

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	前期	電気装置 I - B

教員（実務経験）	西谷 孝也（ ）	大橋 登（メーカー）
----------	--------------	------------

1.授業概要と履修前提	・磁気の基礎を理解したうえで、モータの原理を理解する ・スタータの各機構について構造・作動・必要性を学ぶ ・スタータの交換作業を行う。内部構造を理解し各種点検を行う。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ				
2.教科の到達目標	・電流と磁界の関係を理解し、フレミング の法則の理解につなげる ・スタータの各機構について必要性・作動を説明できる。スタータの回路作動を説明できる。 ・安全・確実にスタータの交換作業を行える。 ・スタータの各種点検要領を理解し、測定値から良否の判定が行えると共に、起因故障を理解する				
3.使用教科書、準備品	整備振興会 二級自動車整備士（総合） 整備振興会 三級自動車整備士（総合）				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている				
5.評価方法	実技チェック：10点 、レポート：5点 学科試験：45点 、実技試験：40点	授業時間	学科	実習	試験
		37	8	27	2

授業計画					
学実	テーマ	到達目標	教場	時間	
学科	スタータ概要	スタータの必要性を理解する。		1	
学科	磁気の基礎と電流	磁気と電流に関する法則を理解する。		1	
学科	モータの原理・特性	回転する仕組み、構造、及び、特性が理解できる		1	
学科	種類(ISS)	ISS(アイドリングストックシステム)の構造を理解できる		1	
学科	逆起電力	逆起電力の発生、大きさについて理解できる		1	
学科	e テスト	e テスト(エレクトリカルテスト)に合格できる		1	
学科	確認試験	確認試験(学科、及び、実技ペーパー)が解ける		1	
学科	復習	授業内容で解らない内容が無い		1	
実習	車両脱着	車両からスタータの脱着ができる(含:車両取扱)		3	
実習	外観構造研究(R型)	R型スタータの構造の特徴について説明できる。		1	
実習	作動・種類	回路図での電気の流れが理解でき、構造上の種類がわかる		2	
実習	分解(R型)	修理書の手順に従い、分解できる		1	
実習	構造研究(R型:単体)	アーマチュア、ヨーク、ブラシAssyの特徴が分かり、単体点検ができる		2	
実習	構造研究(R型:単体)	減速機構、マグネツトスイッチの特徴が分かり、単体点検ができる		2	
実習	組付(R型)	修理書の手順に従い、組付けできる		1	
実習	単体点検(R型)	吸引・保持・戻り、及び、無負荷の各試験ができる		2	
実習	外観構造研究	P型スタータの構造の特徴について説明できる。		1	
実習	分解(P型)	修理書の手順に従い、分解できる		1	
実習	構造研究(P型:単体)	ブラネタリギヤの構造、ギヤ比の求め方が理解できる		2	
実習	構造研究(P型:単体)	緩衝装置の構造、作動が理解できる		1	
実習	組付(P型)	修理書の手順に従い、組付けできる		1	
実習	単体点検(P型)	吸引・保持・戻り、及び、無負荷の各試験ができる		1	
実習	モータの損失	モータに発生する損失が理解できる		1	
実習	出力特性図	グラフ(表)の読取ができ、出力、逆起電力等の関連が理解できる		1	
実習	復習	単体点検がスムーズに流せて、良否判定ができる		2	
実習	平常技術チェック	単体点検(吸引、保持、戻り、無負荷)に合格できる		1	
実習	e - テスト			1	

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	学年末	電気装置 I - B

教員（実務経験）	西谷 孝也（ ）	大橋 登（メーカ）
----------	----------	-----------

1.授業概要と履修前提	・各電気装置の復習を通して、理解度の向上を図る ・Ωの法則の計算の理解度を向上を図る ・拭取り装置の種類、作動、構造を学ぶ。各種点検を行い、良否判定を行う。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ				
2.教科の到達目標	・各種装置の構造、作動の理解がより深くできる ・拭取り装置の構造、作動が理解できる ・モータの回転速度の変化、回路が理解できる ・ワイパゴムの交換がスムーズにできる				
3.使用教科書、準備品	整備振興会 二級自動車整備士（総合） 整備振興会 三級自動車整備士（総合） 手持ち工具、保護眼鏡、手袋、ウェス				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ○ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている				
5.評価方法	評価無し	授業時間	学科	実習	試験
		17	4	13	0

[illegible]

シラバス	自動車整備科 1 年・高度自動車工学科 1 年・国際自動車整備科 2 年		
	2026年度	後期	自動車性能・力学

教員（実務経験）	矢下 椋大（販売会社）	竹谷 康佑（販売会社）
----------	-------------	-------------

1.授業概要と履修前提	・自動車の諸元について学ぶ ・自動車性能について学ぶ				
2.教科の到達目標	・自動車の基礎用語、寸法用語について答えることができる ・動力性能の計算ができる ・性能線図を読み取ることができる				
3.使用教科書、準備品	・日整連 二級総合 ・電卓（関数電卓 不可）				
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている				
5.評価方法	学科試験：100点	授業時間	学科	実習	試験
		8	8	0	

[illegible]

シラバス	自動車整備科 2 年・高度自動車工学科 2 年・国際自動車整備科 3 年		
	2026年度	前期	エンジンⅡ－A

教員（実務経験）	浅野 忠伯（ ）	久保 翔（販売会社）
----------	----------	------------

1.授業概要と履修前提	可変バルブタイミング				
	過給機				
	エンジン計測作業				
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ				
2.教科の到達目標	可変バルブ装置を理解し、構造・作動が説明できる				
	過給機の種類と特徴を理解し作動説明できる				
	国家試験問題を解くことができる				
	正しい計測器の取扱いができ、結果を元に判定ができる				
3.使用教科書、準備品	二級自動車整備士（総合）				
	トヨタサービス技術テキスト 1STEP・2STEP				
	トヨタサービス技術テキスト 工具、計測器、整備機器編				
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている				
	◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている				
	△ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている				
5.評価方法	学科平常試験：10点、学科試験：40点	授業時間	学科	実習	試験
	実技平常試験：5点、レポート：5点、実技チェック：8点、実技試験：32点	56	15	39	2

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	エンジン本体	可変バルブタイミングの必要性・役目を理解する	241	1
学科	エンジン本体	V V T -iの構造・構成部品を理解する	241	1
学科	エンジン本体	V V T -iの作動を理解する	241	1
学科	エンジン本体	V V T L -iの構造・作動を理解する	241	1
学科	エンジン本体	V V T -iとi Eの違いを理解する	241	1
学科	エンジン本体	LPG概要	241	1
学科	吸排気装置	過給機の役目、種類を理解する	241	1
学科	吸排気装置	ターボチャージャの作動を理解する	241	1
学科	吸排気装置	ターボチャージャの過給圧制御、特徴を理解する	241	1
学科	吸排気装置	スーパーチャージャの特徴	241	1
学科	吸排気装置	インタークーラの役目を理解する	241	1
学科	e テスト	e テスト（ガソリンエンジン2・エンジンメカニカル2）の内容を理解する	241	1
学科	e テスト	e テスト（ターボチャージャ・オーバーホール）の内容を理解する	241	1
学科	平常試験	授業内容全般を理解する	241	1
学科	学科まとめ		241	1
実習	エンジン本体	可変バルブタイミングの構成・構造・作動を理解する	32 A	5
実習	吸排気装置	ターボチャージャの構造を理解する	32 A	2
実習	エンジン計測	正しい測定値を得るための注意事項を理解する	32 A	1
実習	エンジン計測	オーバーホールの基礎や注意事項を理解する	32 A	1
実習	エンジン計測	カムシャフト関係の脱着・測定が正確にできるようになる	32 A	3
実習	エンジン計測	バルブ関係の脱着・測定が正確にできるようになる	32 A	4
実習	エンジン計測	カムシャフト脱着・振れ点検を習熟する	32 A	1
実習	平常試験	チェックシート（カムシャフト脱着）が正確にできるようになる	32 A	1
実習	平常試験	チェックシート（振れ測定）が正確にできるようになる	32 A	1
実習	エンジン計測	ピストン/コンロッド脱着が正確にできるようになる	32 A	2
実習	エンジン計測	エンジン計測機器の取り扱いを理解する	32 A	2
実習	エンジン計測	シリンダー関係の測定が正確にできるようになる	32 A	3
実習	エンジン計測	ピストン関係の測定が正確にできるようになる	32 A	5
実習	エンジン計測	クランクシャフト関係の測定が正確にできるようになる	32 A	3
実習	エンジン計測	各測定を習熟する	32 A	1
実習	平常試験	チェックシート（エンジン計測全般）が正確にできるようになる	32 A	3
実習	実技まとめ		32 A	1

シラバス	自動車整備科 2 年・高度自動車工学科 2 年・国際自動車整備科 3 年		
	2026年度	後期	エンジンⅡ－A

教員（実務経験）	浅野 忠伯（ ）	久保 翔（販売会社）
----------	----------	------------

1.授業概要と履修前提	ディーゼルエンジン			
	コモンレール式ディーゼルエンジン			
2.教科の到達目標	整備機器取り扱い			
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ			
3.使用教科書、準備品	ディーゼルエンジンの特徴・構造等が理解でき、ガソリンエンジンとの違いを説明できる			
	コモンレール式燃料噴射装置の概要・構成や役割を理解し、各種制御を説明できる			
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	国家試験問題を解くことができる			
	正しい測定値を得るための計測器の取り扱いができる			
5.評価方法	二級自動車整備士（総合）			
	トヨタサービス技術テキスト 1STEP・2STEP			
	トヨタサービス技術テキスト 工具、計測器、整備機器編			
	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている			
	◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている			
	△ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
	学科平常試験：10点、学科試験：40点			
	実技平常試験：5点、レポート：5点、実技試験：40点			
	授業時間 56 学科 22 実習 32 試験 2			

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの特徴を理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	軽油の性状を理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの4行程について理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	空気過剰率、体積効率について理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	ディーゼルノックについて理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	排気ガス中の有害ガス及び対策を理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの3要素を理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	予熱装置について理解する	241	1
学科	燃料装置	近年のディーゼルエンジン事情を理解する	241	1
学科	燃料装置	コモンレール式の特徴・全体構成を理解する	241	2
学科	燃料装置	サボライポンプの種類・特徴を理解する	241	4
学科	燃料装置	E C Uの内部構成及び制御を理解する	241	2
学科	吸排気装置	後処理装置について理解する	241	2
学科	学科まとめ		241	1
学科	eテスト	eテスト（ディーゼルエンジン、尿素SCR）の内容を理解する	241	1
学科	平常試験	授業内容全般を理解する	241	1
実習	エンジン本体	エンジンの全体構成・各部名称・取り付け位置を理解する	32 A	3
実習	エンジン本体	各センサーの名称・取り付け位置を理解する	32 A	2
実習	エンジン本体	燃料系統の取外しができ、コモンレールの構造を理解する	32 A	2
実習	エンジン本体	本体部品の取外しができ、吸排気装置の構造を理解する	32 A	2
実習	エンジン本体	分解・構造確認を通して、ディーゼルエンジン構造を理解する	32 A	4
実習	エンジン本体	シリンダヘッドの脱着ができ、燃焼室について理解する	32 A	3
実習	エンジン本体	エンジン本体のトルク管理・復元ができるようになる	32 A	4
実習	エンジン本体	燃料系統のトルク管理・復元ができるようになる	32 A	3
実習	エンジン本体	車両にて全体構成や取り付け状態を理解する	32 A	1
実習	エンジン本体	車両にてエンジン始動・メータ表示を理解する	32 A	1
実習	エンジン本体	車両にて外部診断機を用いたデータ確認と補正值登録を理解する	32 A	2
実習	ディーゼル本体	大型車両の概要、構造を理解する（愛知日野自動車様講師）	51実	1
実習	ディーゼル本体	燃料系作業方法を理解する（愛知日野自動車様講師）	51実	1
実習	ディーゼル本体	燃欠時の対応を理解する（愛知日野自動車様講師）	51実	1
実習	実技まとめ		32 A	1
実習	平常試験	授業内容全般を理解する	32 A	1

シラバス	自動車整備科 2 年・高度自動車工学科 2 年・国際自動車整備科 3 年		
	2026年度	前期	エンジンⅡ－B

教員（実務経験）	小川 剛司（ ）	足立 拓（販売会社）
----------	--------------	------------

1.授業概要と履修前提	電子制御燃料噴射装置（EFI）、排気浄化装置、外部診断機（GTS）の習熟			
	電子技術マニュアル取り扱い			
	電子制御装置の構造構成制御理解			
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ			
2.教科の到達目標	排出ガスの種類と発生原因を理解し説明できる			
	EFIの構成部品について、センサー・コンピュータ制御の基礎を理解し説明できる			
	診断機を使用し、基本的な点検・計測作業ができる			
	国家試験問題を解くことができる			
3.使用教科書、準備品	二級自動車整備士（総合）			
	トヨタサービス技術テキスト 1STEP・2STEP			
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている			
	◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている			
	△ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
5.評価方法	学科平常試験：10点、学科試験：40点			授業時間
	実技平常試験：5点、レポート：5点、実技チェック：8点 、実技試験：32点			学科
				実習
				試験
			56	19
			35	2

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	エンジン本体	ガソリンエンジンの排出ガスを理解する	242	1
学科	エンジン本体	排出ガス対策の酸化触媒・還元触媒・三元触媒を理解する	242	1
学科	エンジン本体	排出ガス対策のEGR・フローバイガス還元装置を理解する	242	1
学科	電子制御装置	E F I 装置の概要を理解する	242	1
学科	電子制御装置	フューエルポンプの制御を理解する	242	1
学科	電子制御装置	バキュームセンサの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	エアフロメータの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	スロットル・アクセルポジションセンサの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	O2・空燃比センサの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	クランク角・カム角センサの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	温度・ノックセンサの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	インジェクタの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	燃料噴射制御の概要を理解する	242	1
学科	電子制御装置	同期・非同期噴射の種類を理解する	242	1
学科	電子制御装置	フューエルカットを理解する	242	1
学科	電子制御装置	空燃比 F / B、学習制御を理解する	242	1
学科	e テスト	e テスト（エンジンメカニカル 3・4、ガソリンエンジン 3）の内容を理解する	242	1
学科	平常試験	授業内容全般を理解する	242	1
学科	学科まとめ		242	1
実習	基本作業	危険予知ができるようになる	32 B	1
実習	E F I 構成部品	E F I 構成部品の種類・取り付け位置・役目等を理解する	32 B	4
実習	E F I 構成部品	E C U の電源・アースについて理解する	32 B	3
実習	外部診断機	ダイアグ機能の概要、検出原理を理解する	32 B	2
実習	外部診断機	外部診断機の取り扱い（基礎）ができるようになる	32 B	3
実習	電子技術マニュアル	電子技術マニュアルの修理書にて調べることができるようになる	32 B	1
実習	電子技術マニュアル	修理書より正常データ収集ができるようになる	32 B	2
実習	電子技術マニュアル	解説書より各正常データ収集ができるようになる	32 B	2
実習	電子技術マニュアル	配線図より不具合時の値、現象確認ができるようになる	32 B	2
実習	E F I 構成部品	データモニタにて正常データ収集ができるようになる	32 B	4
実習	E F I 構成部品	各センサーの波形観測ができるようになる	32 B	6
実習	E F I 構成部品	ダイアグコード読み取りや現象確認ができるようになる	32 B	2
実習	平常試験	授業内容全般を理解する	32 B	2
実習	実技まとめ		32 B	1

シラバス	自動車整備科 2 年・高度自動車工学科 2 年・国際自動車整備科 3 年		
	2026年度	後期	エンジンⅡ－B

教員（実務経験）	小川 剛司（ ）	足立 拓（販売会社）
----------	----------	------------

1.授業概要と履修前提	ガソリンエンジン 電子点火装置（E S A）			
	アイドル回転速度制御装置・電子スロットル			
	ガソリンエンジンの故障探求、電子点火装置			
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ			
2.教科の到達目標	電子点火装置の作動を理解し説明できる			
	アイドル回転速度制御装置を理解し説明できる			
	故障探求の手順・方法が理解できる			
	国家試験問題を解くことができる			
3.使用教科書、準備品	二級自動車整備士（総合）			
	トヨタサービス技術テキスト 1STEP・2STEP			
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている			
	◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている			
	△ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
5.評価方法	学科平常試験：10点、学科試験：40点			授業時間
	実技平常試験：5点、レポート：5点、実技試験：40点			56
			学科	16
			実習	38
			試験	2

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	電子制御装置	点火制御装置の概要を理解する	242	1
学科	電子制御装置	点火制御装置の役目・構造を理解する	242	1
学科	電子制御装置	点火制御装置の回路・信号を理解する	242	1
学科	電子制御装置	点火制御装置の作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	点火制御装置の点火時期制御を理解する	242	2
学科	電子制御装置	点火制御装置の点火補正を理解する	242	1
学科	電子制御装置	アイドル回転制御装置の概要・役目・構造を理解する	242	1
学科	電子制御装置	アイドル回転制御方法を理解する	242	1
学科	電子制御装置	電子制御式スロットルの概要・特徴を理解する	242	1
学科	電子制御装置	電子制御式スロットルの制御を理解する	242	1
学科	故障探求	故障探求の流れを理解する	242	3
学科	eテスト	eテスト（エンジンの3要素・G T Sの活用）の内容を理解する	242	1
学科	平常試験	授業内容全般を理解する	242	1
実習	点火制御装置	E S Aの概要、構造を理解する	32 B	1
実習	点火制御装置	E S Aの制御を理解し、波形観測ができるようになる	32 B	1
実習	点火制御装置	データモニタにて回転速度と負荷の関係を理解する	32 B	1
実習	故障探求	故障探求の5つのステージを理解する	32 B	2
実習	故障探求	故障探求のフローチャートを作成することができるようになる	32 B	1
実習	故障探求	パワーバランス点検ができるようになる	32 B	1
実習	故障探求	W/H、リレーの単体点検ができるようになる	32 B	1
実習	エンジントラブル	E C U、センサ電圧測定ができるようになる	32 B	1
実習	エンジントラブル	課題 1 の故障探求ができるようになる	32 B	3
実習	エンジントラブル	課題 2 の故障探求ができるようになる	32 B	3
実習	エンジントラブル	課題 3 の故障探求ができるようになる	32 B	3
実習	エンジントラブル	課題 4 の故障探求ができるようになる	32 B	3
実習	エンジントラブル	課題 5 の故障探求ができるようになる	32 B	3
実習	エンジントラブル	課題 6 の故障探求ができるようになる	32 B	3
実習	エンジントラブル	課題 7 の故障探求ができるようになる	32 B	3
実習	エンジントラブル	課題 8 の故障探求ができるようになる	32 B	3
実習	エンジントラブル	課題 9 の故障探求ができるようになる	32 B	3
実習	エンジントラブル	復習を通し、トラブルシュートについて理解する	32 B	1
実習	平常試験	授業内容全般を理解する	32 B	1

シラバス	自動車整備科 2 年・高度自動車工学科 2 年・国際自動車整備科 3 年		
	2026年度	前期	シャシⅡ－A

教員（実務経験）	本間 滉太郎（販売会社）	鈴木 郁哉（販売会社）
----------	--------------	-------------

1.授業概要と履修前提	定期点検の必要性、種類を理解する。						
	定期交換部品の商品知識、交換時期を理解する（復習）。						
	日常点検、ブローア 1 0、12か月定期点検						
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ						
2.教科の到達目標	定期交換部品の商品知識、交換時期を説明できる。						
	安全な作業ができる						
	正確な点検、記録簿の正しい記載ができる						
	整備機器の正しい取り扱いができる						
3.使用教科書、準備品	法令テキスト						
	トヨタ定期点検作業要領説明書						
	2, 3級自動車整備士（総合）						
	教育用メンテナンスノート						
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている						
	◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている						
	サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている						
5.評価方法	学科平常試験：5、学科定期試験：30			授業時間	学科	実習	試験
	実技平常試験：7、レポート：3、実技チェック：5、実技定期試験：50			56	15	39	2

[illegible]

教員（実務経験）	本間 滉太郎（販売会社）	鈴木 郁哉（販売会社）
----------	--------------	-------------

[illegible]

シラバス	自動車整備科 2 年・高度自動車工学科 2 年・国際自動車整備科 3 年		
	2026年度	前期	シャシⅡ－B

教員（実務経験）	小 掠 哲弘（ ）	加藤 以織（ ）
----------	--------------------	------------------

1.授業概要と履修前提	パワーステアリング、オイルポンプ、ロータリバルブ、電子制御式パワーステアリング、電動パワーステアリング パワーステアリングを構成する部品の名称・役目、コントロール トヨタ業務教育に基づいた、接客の基本・部品業務の知識					
2.教科の到達目標	バルブの種類・作動を説明できる。 パワーステアリングの構造がわかり、国家試験問題が解けるようになる。 基本の接客業務の流れを理解し、実践できる。					
3.使用教科書、準備品	二級総合 三級総合 自動車整備技術シャシ4（PDF）					
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ◎ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている					
5.評価方法	実技チェック：10点、レポート：5点 平常試験：5点 学科試験：40点、実技試験：40点		授業時間	学科	実習	試験
			54	13	39	2

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	パワーステアリング概要	動力、作動、制御装置を区別し、説明できる	244	1
学科	オイルポンプ	ベーン型オイルポンプ、フロートコントロールバルブ、プレッシャリリーフバルブの作動を理解できる	244	2
学科	種類	装置の取り付け位置、リンクによる種類の区別ができる	244	1
学科	コントロールバルブ	油圧作動、作動切り替えの原理を理解する	244	1
学科	ロータリバルブ	直進時、旋回時の部品の動き、油路の説明ができる 故障時の作動を説明できる	244	1
学科	電子制御式パワーステアリング	必要性を理解し、油圧反力制御式の作動を説明できる	244	1
学科	電動パワーステアリング	部品の取り付け位置による種類の分類、トルクセンサの特徴を押さえて説明ができる	244	1
学科	業務教育①トヨタサービスの基本精神	3S精神 基本7項目が身につく	244	1
学科	業務教育②接客	ロールプレイングを通して、接客の流れが身につく	244	1
学科	業務教育③保証業務	トヨタの製品保証について、理解できる	244	1
学科	習熟	今回学んだことを想起し、抜け、漏れ、理解不足を把握し、補う	244	2
実習	ステアリング概要	3つの機構、要求される条件を説明できる	244	2
実習	操作機構	ステアリングコラムの特徴、機能を説明できる	244	2
実習	ギア機構、バリアブルギアレシオ	名称・作動が説明でき、ギヤ比を用いた計算ができる 国家試験問題を解くことができる	244	3
実習	リンク機構	アッカーマンジャント理論を理解する	244	1
実習	旋回性能	コーナリングフォースとスリップアングルについて理解し、旋回軌跡の違いを説明できる	244	2
実習	4輪操舵機構	4輪操舵機構について理解し、各速度域での制御の違いを説明できる	244	1
実習	油圧式パワーステアリング	分解・組付けを行い各部品の特徴を押さえ、差動を説明できる	212	3
実習	電動パワーステアリング	外観による種類の区別ができ、トルクセンサの種類の区別が説明できる	212	3
実習	GWT	トーションバーが無い場合の作動について	212	1
実習	車上ステアリングホイール脱着	車両で作業を行い、取付状態が理解できる。	33A	3
実習	業務教育①トヨタサービスの基本精神	3S精神 基本7項目が身につく	244	3
実習	業務教育②接客	ロールプレイングを通して、接客の流れが身につく	244	5
実習	業務教育③保証業務	トヨタの製品保証について、理解できる	244	4
実習	技術チェック	ラックブーツの交換が正しくできる	212	3
実習	4S・毎日問題	今回学んだ内容を復習し、理解を深める	244	1
実習	練習問題	今回学んだ内容を理解し、国家試験問題を解くことができる	244	1
実習	まとめ	復習	244	1

シラバス	自動車整備科 2 年・高度自動車工学科 2 年・国際自動車整備科 3 年		
	2026年度	前期	シャシⅡ－C

教員（実務経験）	青谷 真乃介（販売会社）	坂元 亮太（ ）
----------	--------------	--------------

1.授業概要と履修前提	各ホイールアライメントの役目を理解する。ホイールアライメント測定・調整 作業			
	4WD、インタアクスルデフ			
	業務教育（記録簿説明）			
	☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ			
2.教科の到達目標	CCKゲージの取り扱いと計測ができる			
	各点検及び測定作業の良否判断ができる			
	様々な4WDの構成部品を把握できる インタアクスルデフの国家試験問題が解ける			
	記録簿をお客様に説明でき、提案できる			
3.使用教科書、準備品	3級自動車整備士（総合）			
	2級自動車整備士（総合）			
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている			
	◎ 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている			
	◎ サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
5.評価方法	実技平常試験：5点、スキルチェック：8点、レポート：5点、実技試験：32点			
	学科平常試験：10点、学科試験：40点			
		授業時間	学科	実習
		47	18	27
		試験		2

授業計画				
学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	国家試験対策	国家試験問題の練習	246R	1
学科	概要	アライメントの概要が理解できる	246R	4
学科	キャンバ	キャンバの目的、機能が理解できる	246R	2
学科	キャスタ	キャスタの目的、機能が理解できる	246R	3
学科	キングピンアングル	トー、サイドスリップ、ターニングラジアスの目的、機能が理解できる	246R	2
学科	まとめ	授業内容の復習	246R	1
学科	4WD	4WD概要・種類・構造が理解できる	246R	3
実習	業務教育	記録簿の内容がお客様に説明できる		2
実習	業務教育	スキルチェック		3
実習	キャンバ	キャンバの測定作業が理解できる	34A	1
実習	キャスタ	キャスタの測定作業が理解できる	34A	2
実習	キングピンアングル	キングピンアングルの測定作業が理解できる	34A	4
実習	トーイン	トーインの測定、調整作業が理解できる	34A	1
実習	ターニングラジアス	ターニングラジアスの測定作業が理解できる	34A	1
実習	4輪アライメント	セットバック、スラスト角が理解できる	34A	3
実習	測定前点検	測定前点検が行える	34A	4
実習	各アライメント測定	CCKゲージが使用できる	34A	2
実習	4WD	フリーホイールハブを理解できる	246R	1
実習	インタアクスルデフ	国家試験が解ける	246R	1
学科	まとめ	定期試験のまとめ	246R	1
実習	まとめ	定期試験のまとめ	246R	1
学科	定期試験			1
実習	定期試験			1

